

事務事業評価表(既存事業)

コード 7-3-5	事務事業名 学童クラブ施設整備事業	所管部課 児童青少年部児童課					
事務事業の概要	事務事業の目的 学童クラブの定員超過の解消及び児童安全確保を目的とする。	総合計画上の位置づけ (政策)創造性の育つまちづくり (施策)子育て支援の促進(創2-2) (主要施策)学童クラブ施設の計画的な整備					
	実施内容、実施方法 施設の新設及び老朽化による施設の建替及び改修	根拠法令等					
	事業開始時期 平成 16 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> その他( 嘱託職員を配置 )					
評価指標の設定	活動指標名 学童クラブの総定員数	活動指標の考え方(定義) 定数増加による待機児童の解消(各学童クラブの定数の総数)					
	学童クラブ施設整備	学童クラブ施設整備(25箇所+平成17年度新規に2箇所整備予定)					
	成果指標名 定員超過率	成果指標の考え方(定義) 定員に対する適切な受け入れ					
	施設整備進捗率	施設整備進捗率(当該年度予算に計上された施設整備進捗率)					
事務事業データ		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
	事業費(A)		0	0	66,306	13,845	
	国庫支出金	千円					
	都支出金				40,930	2,100	
	地方債						
	その他				4,000	3,000	
	一般財源				21,376	8,745	
	所要人員(B)	人			0.50	0.50	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	0	4,164	4,164	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	0	0	70,470	18,009	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(各学童クラブの総定数)	千円	0	0	59.72		
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	人			1,145	1,180
		実績値	人			1,180	
活動指標	目標値	施設			25	27	
	実績値	施設			25		
成果指標	目標値	%			100	100	
	実績値	%			112		
成果指標	目標値	%			100	100	
	実績値	%			100		
事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	全国でもサービス水準は、トップクラス					
	国・都・他市・民間等 における類似事業	他市においても、学童クラブ事業を実施					
	運営上の制約条件・ 外部要因等	学童クラブ事業(放課後児童健全育成)補助を受けており、年間最低開設日数等の要件がある。					

コード 7-3-5	事務事業名 学童クラブ施設整備事業	所管部課 児童青少年部児童課
--------------	----------------------	-------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input checked="" type="checkbox"/> 極めて良好 <input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	全国でもサービス水準は、トップクラスである。 けやき、本町第二、向台第二、東、住吉の各学童クラブを整備した。
	必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	年々、申請者が増えている。大型マンションの建設等で、学童クラブの整備が必要な地域が発生している。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	総定員に対して受入人数は、超えており、申請が多かった学童クラブが、最終的に数名、待機児になっている。 申請数に基づき、順次施設整備を行っている。
	公平性 <input checked="" type="checkbox"/> より充実 <input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	待機児を解消するため、施設整備を行う
	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	雑誌等でのサービスランキングも高く、ニーズも増えていることから今後も拡充して実施していく。 需要のある地域に施設整備を実施していく。

17年度における改善点	田無学童クラブの利用者の増加に伴い、仮分室の整備を実施する。 (仮称)北原学童クラブの整備
-------------	--

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。